



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月8日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3954 URL http://www.showa-paxxs.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 亮
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 飯崎 充 TEL 03-3269-5111
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,530	△5.4	211	9.8	254	12.6	164	9.8
28年3月期第1四半期	4,786	7.5	192	16.8	226	7.0	150	6.1

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 41百万円 (△83.6%) 28年3月期第1四半期 254百万円 (45.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	18.54	-
28年3月期第1四半期	16.89	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	22,093	12,308	53.9	1,341.48
28年3月期	22,377	12,340	53.4	1,344.58

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 11,912百万円 28年3月期 11,940百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	6.00	-	8.00	14.00
29年3月期	-	-	-	-	-
29年3月期(予想)	-	7.00	-	14.00	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成28年10月1日を効力発生日として普通株式2株を1株にする株式併合を実施するため、平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合後の金額となります。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	4.8	600	2.5	640	2.5	430	2.8	48.42
通期	21,000	4.6	1,140	3.8	1,220	3.4	830	0.6	186.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	8,900,000株	28年3月期	8,900,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	19,780株	28年3月期	19,780株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	8,880,220株	28年3月期1Q	8,881,856株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

当社は平成28年6月29日開催の第120期定時株主総会において、株式併合に係る議案が承認可決されたことを受けて、同年10月1日を効力発生日として、単元株式数を1,000株から100株へ変更し、普通株式2株を1株にする株式併合を実施いたします。当該株式併合を実施しない場合の平成29年3月期配当予想および連結業績予想は以下の通りとなります。

(1) 平成29年3月期の配当予想

1株当たり配当金

期末 7円00銭

年間合計 14円00銭

(2) 平成29年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益

通期 93円47銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年6月30日)における我が国経済は、年明け以降の円高の継続と株安で景況感が悪化、個人消費も上向かず、全体として景気足踏みの様相を呈しました。

可処分所得の伸び悩みや将来不安から個人消費の低迷が長期化しており、輸出は海外景気減速と円高を背景に力強さに欠け、インバウンドビジネスも増勢が鈍化しました。不確実性の高まりで設備投資にも慎重な姿勢が強まりました。企業収益はなお底堅いものの円高の影響で下振れリスクが高まりつつあります。しかし、失業率は依然低水準で推移して賃金は総じて緩やかな上昇傾向にあり、維持・更新・省力化を目的とした設備投資需要は堅調で、景気を下支えました。在庫調整が一巡するにつれ景気は持ち直しに向かうことが期待されます。

当社グループの主要事業は国内生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売であります。当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、円高の影響もあり、売上高は4,530百万円で前年同期に比して256百万円の減収となりました。しかし、損益につきましては、営業利益211百万円(前年同期比18百万円の増益)、経常利益254百万円(同28百万円の増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益164百万円(同14百万円の増益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

①重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第1四半期連結累計期間出荷数量(ゴミ袋を除く)は、価格改定の関係で米麦袋が前倒し出荷になった前年同期を1.2%下回りました。通常出荷となった米麦袋が大きく減少したほか、合成樹脂、セメントなどの用途が減少しましたが、飼料、農水産物、化学薬品などの用途が増加しました。原紙価格の値上がりに製品への価格転嫁が遅れ気味であった前年同期に対し、原紙価格が安定していた当第1四半期連結累計期間は全体に採算が良化しました。

当社の売上数量は前年同期比+0.5%でした。業界全体と同様に、米麦袋、合成樹脂用途は減少しましたが、砂糖・甘味、その他食品、化学薬品などの用途の増加がそれを補いました。

子会社の九州紙工(株)の売上数量は新規需要獲得で米麦袋出荷の前倒しがなくなった減少をカバーしきれず前年同期比△3.4%でした。タイ昭和パックス(株)の当第1四半期連結累計期間(1～3月)は、タイ国内経済低迷の影響を若干受けて売上数量の拡大趨勢がやや鈍化、前年同期と比べて0.7%減少となりました。山陰製袋工業(株)の当第1四半期連結累計期間(1～3月)の売上数量は前年同期からほぼ横ばいで+0.6%でした。

当セグメントの第1四半期連結累計期間売上高は3,026百万円で、前年同期に対して3.2%の減収となりました。タイパーツに対して大きく円高になったことが影響しています。

②フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第1四半期連結累計期間の出荷量は、産業用、農業用ともに前年同期から減少しました。原油価格は春以降やや持ち直しましたが、主原材料であるポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂価格は弱含んだままで推移しました。

当社の売上数量は、低迷から抜け出せず、産業用、農業用とも減少して、合計では前年同期比△10.2%でした。当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は746百万円で、前年同期に対して10.9%の減収となりました。

③コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、国内生産品では化学工業品用途などが増加、海外からの輸入数量も含め、全体では前年同期からやや増加しています。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、自社製品、輸入販売品いずれも減少し、全体では前年同期比△7.1%でした。大型コンテナバッグ「バルコン」は増加、液体輸送用は、1,000ℓ内袋「エスキューブ」、液体輸送用コンテナライナー「エスタンク」、いずれも前年同期を上回りました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は345百万円で、前年同期に対して0.4%の増収となりました。

④不動産賃貸

賃貸用不動産及び賃貸契約内容に大きな変動はありません。当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は前年同期から2百万円減少し65百万円でした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末総資産は22,093百万円で、前連結会計年度末に比べて284百万円減少しました。主な増加要因は現金及び預金150百万円、商品及び製品204百万円、主な減少要因は受取手形及び売掛金317百万円、投資有価証券118百万円です。

(負債)

負債合計は9,784百万円で、前連結会計年度末に比べて252百万円減少しました。主な増加要因はその他の流動負債359百万円、主な減少要因は電子記録債務160百万円、短期借入金114百万円、未払法人税等168百万円および賞与引当金156百万円です。

(純資産)

純資産合計は12,308百万円で、前連結会計年度末に比べて32百万円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益164百万円による増加、減少要因は剰余金の配当71百万円、その他有価証券評価差額金83百万円および為替換算調整勘定68百万円等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期に比べると減収増益の結果となりました。我が国景気の回復は力強さに欠け、円高や海外景気の停滞感が漂うなど不安要因が多くありますが、グループ全体で売上と利益の拡大に注力してまいります。

当連結会計年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）通期の業績見通しにつきましては、当初の予想（平成28年5月11日発表）を変更せず、連結売上高21,000百万円、連結経常利益1,220百万円、親会社株主に帰属する当期純利益830百万円を見込みます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,598,945	4,749,154
受取手形及び売掛金	5,820,867	5,503,394
電子記録債権	153,536	156,096
商品及び製品	1,184,267	1,388,787
仕掛品	101,473	116,345
原材料及び貯蔵品	1,056,861	1,092,816
繰延税金資産	166,442	166,532
その他	288,871	191,119
貸倒引当金	△13,665	△13,335
流動資産合計	13,357,599	13,350,912
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,498,730	7,470,356
減価償却累計額	△5,158,804	△5,186,680
建物及び構築物(純額)	2,339,926	2,283,676
機械装置及び運搬具	9,364,043	9,410,616
減価償却累計額	△7,823,236	△7,854,380
機械装置及び運搬具(純額)	1,540,807	1,556,235
土地	877,483	870,180
リース資産	32,230	32,230
減価償却累計額	△18,907	△19,853
リース資産(純額)	13,323	12,377
建設仮勘定	158,735	58,428
その他	744,031	751,511
減価償却累計額	△653,976	△658,513
その他(純額)	90,055	92,998
有形固定資産合計	5,020,331	4,873,897
無形固定資産		
ソフトウェア	58,562	54,633
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	67,792	63,863
投資その他の資産		
投資有価証券	3,451,235	3,332,681
退職給付に係る資産	344,204	347,136
繰延税金資産	35,423	35,269
その他	110,342	99,160
貸倒引当金	△9,169	△9,621
投資その他の資産合計	3,932,036	3,804,625
固定資産合計	9,020,160	8,742,387
資産合計	22,377,760	22,093,299

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,127,776	3,185,118
電子記録債務	1,238,455	1,077,697
短期借入金	2,756,800	2,642,100
リース債務	4,834	4,834
未払法人税等	258,039	89,621
繰延税金負債	206	204
賞与引当金	358,055	201,471
役員賞与引当金	18,780	12,870
設備関係支払手形	5,985	2,104
営業外電子記録債務	31,646	37,554
その他	731,333	1,090,736
流動負債合計	8,531,913	8,344,314
固定負債		
長期借入金	143,000	139,000
リース債務	4,834	3,625
繰延税金負債	617,159	589,700
役員退職慰労引当金	97,891	86,114
環境対策引当金	12,849	26,229
退職給付に係る負債	439,722	407,068
資産除去債務	6,995	6,995
長期預り保証金	182,589	181,755
固定負債合計	1,505,041	1,440,489
負債合計	10,036,955	9,784,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	10,144,126	10,237,739
自己株式	△9,357	△9,357
株主資本合計	11,065,115	11,158,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,054,216	970,487
為替換算調整勘定	124,361	55,627
退職給付に係る調整累計額	△303,518	△272,195
その他の包括利益累計額合計	875,059	753,919
非支配株主持分	400,629	395,846
純資産合計	12,340,804	12,308,495
負債純資産合計	22,377,760	22,093,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,786,503	4,530,088
売上原価	3,948,518	3,681,010
売上総利益	837,985	849,078
販売費及び一般管理費	645,622	637,907
営業利益	192,362	211,171
営業外収益		
受取利息	870	515
受取配当金	39,406	46,161
為替差益	792	90
その他	3,000	3,739
営業外収益合計	44,069	50,506
営業外費用		
支払利息	9,964	6,699
その他	111	179
営業外費用合計	10,076	6,879
経常利益	226,356	254,798
特別損失		
固定資産除却損	1,041	2,059
環境対策引当金繰入額	-	13,380
復興支援に係る寄付金	-	2,500
特別損失合計	1,041	17,939
税金等調整前四半期純利益	225,314	236,858
法人税、住民税及び事業税	67,793	69,183
法人税等調整額	△3	△3,302
法人税等合計	67,789	65,881
四半期純利益	157,524	170,977
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,522	6,321
親会社株主に帰属する四半期純利益	150,002	164,655

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	157,524	170,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75,830	△84,075
為替換算調整勘定	13,037	△76,371
退職給付に係る調整額	8,426	31,322
その他の包括利益合計	97,293	△129,125
四半期包括利益	254,818	41,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,622	43,514
非支配株主に係る四半期包括利益	9,196	△1,662

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,126,881	837,389	344,523	68,614	4,377,409	409,093	4,786,503
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,126,881	837,389	344,523	68,614	4,377,409	409,093	4,786,503
セグメント利益又は損失(△)	185,102	45,670	△9,380	43,159	264,551	29,712	294,263

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	264,551
「その他」の区分の利益	29,712
全社費用(注)	△101,901
四半期連結損益計算書の営業利益	192,362

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,026,476	746,255	345,742	65,767	4,184,241	345,847	4,530,088
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,026,476	746,255	345,742	65,767	4,184,241	345,847	4,530,088
セグメント利益又は損失(△)	192,626	50,538	△4,820	37,896	276,240	25,024	301,265

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	276,240
「その他」の区分の利益	25,024
全社費用(注)	△90,094
四半期連結損益計算書の営業利益	211,171

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。